

JAF U-17

YŪ JU-NANA



JAF

Vol.8
2007 WINTER

つめたーい風の真冬はコレで行こう!
ご当地・麵ツーリング!

バイクに乗るならビシッと決めて!
U-17 STYLE ライダースファッション

ゲレンデからHOT! な得々情報
冬のJAF優待割引

「車会人」への登竜門
教習所ってどんなところ?

JAFホームページアドレス
<http://www.jaf.or.jp/>

JAF携帯サイト
<http://jafmb1.jp/>

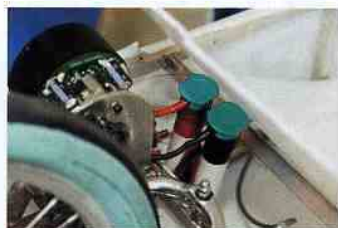




TEXT= 村田純也 PHOTO= 福田浩章

動力源は電池のみ!

バッテリークラスはGS・ユアサYTX4-BSが1個、乾電池クラスはパナソニック・オキシライド単三電池が8本。走行前に参加者各自へ大会本部から支給される。驚くことに、たったそれだけの動力源でモーターを駆動させ、コースを走行する!



まず目をひくのは、その個性あふれる外觀。レギュレーションでは自作ボディであることが定められる。車両サイズさえクリアしていればシャシーからボディカウルにいたるまで自由設計なのだ。だから、空気抵抗を減らすために流線的なボディカウルにしている本格派チームもあれば、まるで変わり種自転車のようなユニークマシンでレースを楽しむチームも。つまり観客として参加しても

このレースに参加するマシンでまず目をひくのは、その個性あふれる外觀。レギュレーションでは自作ボディであることが定められる。車両サイズさえクリアしていればシャシーからボディカウルにいたるまで自由設計なのだ。だから、空気抵抗を減らすために流線的なボディカウルにしている本格派チームもあれば、まるで変わり種自転車のようなユニークマシンでレースを楽しむチームも。つまり観客として参加しても

わずかな力で、人を乗せたマシンが駆ける

動力源に原付用バッテリー、もしくは単三乾電池を使用した電気自動車で1周約300mの特設コースをU-17世代たちが懸命に駆け抜ける! トップの走行距離は乾電池8本でなんと4km以上! 驚きのレースを紹介しよう

U-17世代が手作り電気自動車で大活躍! エコデンレース



比較的自由的な規則

レギュレーションは大会本部が配布するバッテリーや乾電池を使用する以外に、車両サイズ、2系統ブレーキの確保、ドライバーを含めて60kgという最低重量クリア程度。この枠のなかで、各チームはマシンに創意工夫を凝らしていた。



車検時はドライバーが体重計に乗って最低重量をチェック。軽すぎる場合はウエイトを積んで調整する。



ボディを含めて全幅120cm、全長300cm、全高160cm以内、それさえクリアすれば形状は自由だ。

創意工夫が面白い各車両！

車両はご覧のように各チームが創意工夫を凝らしたマシンを持ち込んでいた。空方面に配慮したことから、アンパンマンをモチーフにしたユニークなものまであり、参加車両を見ているだけでも楽しめるのがエコデンレースのもうひとつの魅力だ。

RESULT

Class	Team	Machine
バッテリークラス優勝	沖縄県立八重山商工高等学校	Anemone
ワイパークラス優勝	沖縄県立宮古工業高等学校	BassLine2006
乾電池クラス優勝	愛知県立豊橋工業高校	子猫 Speed
全自研会長賞	福岡県立八女工業高等学校	エコライン4
	愛知県立豊橋工業高等学校機械部	子猫龍閃
	大阪府立今宮工業高等学校	IMAG2004
技術デザイン賞	大阪府立藤井寺工科高等学校	疾風
	大阪府立生野高等学校	ASK

開催：2006年11月23日、場所：日本万国博覧会記念公園 お祭り広場、コース：311.9m
主催：全国自動車教育研究会 主管：全国自動車教育研究会 近畿地区

かなり楽しめちゃうレースなんだ。
なお、実際のレースは想像していた以上にハイスピード！そしてポジション争いも熾烈。かぎりある動力源で規定時間を周回するため、前半から飛ばしていたマシンが終盤にバッテリー切れによってストップするなど、ドライバーのバッテリーマネージメントが勝敗を分けるという頭脳戦でもある！
自作マシンによる熱い戦い……。同じU・17世代が奮闘するエコデンレースは、一度見れば参加したくなるほどの盛り上がりよっだヨ！